

12月21日(月曜日)「信仰の働き」

【新改訳 2017】

ヘブル 11:1

「信仰は望んでいる事からを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」

これは、信仰の働き、すなわち機能についての説明です。「信じる」という人間の心理は、その人の生存と幸福に大きく影響します。ですから、何を信じるかは、その人の一生を左右する重大事なのです。次のことを知っておきましょう。①何でも信じることは不幸です。②何も信じないことも悲惨です。③信ずべきことを信じるのが当然であり、幸いなのです。いわしの頭も信心から一ではいけません。

私たちは、聖書によって、創造主なる神、救い主キリスト、聖書の三位一体の神とそのみわざを信じるべきです。その時、「望んでいる事からは保証され、目に見えないものを確信」できるのです。ある聖書学者のことばです。「信仰は、目に見えないものを見、目に見えないものを見るゆえに信じられないことを信じ、信じられないことを信じるゆえに不可能が可能と

なる」。

～祈り～

主よ。信仰は、なんとという賜物でしょう。あなたは、信仰という心の機能を人に与え、希望をもって生きられるようにしてくださいました。心から感謝し、御名を賛美します。

【学びのために】

(参考別訳)「さて信仰とは[私たちが]望んでいる事柄を確信することくその確認、証書〉であり、[私たちが]見ていないものの証拠くそれらが事実であることの確信〉なのです。《信仰は感覚に示されないものを真の事実として認めるのです》」
(詳訳聖書)。